

石川県環境総合計画に基づくこれまでの取組について

石川県環境総合計画に基づき、県民・事業者・民間団体等と連携しながら、各分野において取組を推進してきたことにより、本県が誇る健全で恵み豊かな環境の維持向上に貢献している。

1 生活環境の保全

水環境においては、立入検査での指導等により、全ての工場・事業場で排水基準に適合するなど、全ての公共用水域での人の健康の保護に関する環境基準の達成につながっており、大気環境においても、各種排出規制により、光化学オキシダントを除く全ての項目で環境基準を達成するなど、

関係法令等に基づく監視、指導等の実施により、生活の基盤である健全で恵み豊かな水や大気などの生活環境が概ね良好に維持されている。

2 循環型社会の形成

1人1日あたりのごみ（一般廃棄物）排出量が1,174g（H15年度）から968g（H29年度）に減少したほか、廃棄物の最終処分量について、一般廃棄物で約90千トン（H15年度）から約47千トン（H29年度）、産業廃棄物で約218千トン（H15年度）から約73千トン（H29年度）と、大幅に減少するなど、環境への負荷をできる限り少なくした社会の構築に向け、各種リサイクル法の施行等も背景に、県民や事業者における廃棄物等の排出抑制並びに循環資源の再使用及び再生利用の取組が着実に進んでいる。

3 自然と人との共生

「いしかわ版里山づくりISO」や「いしかわ里山ポイント制度」の創設による多様な主体の参画促進により、森林・里山保全活動数が約50回（H15年度）から286回（H30年度）に拡大したほか、県内における絶滅のおそれが高い20種を県指定希少野生動植物種に指定し、個体の捕獲・損傷等の規制や生息状況のモニタリング調査による保全を図るなど、

本県が誇る多様性に富んだ豊かな自然環境の保全と、自然と人とのよりよい関係の維持に向けた取組等が着実に進んでいる。

4 地球環境の保全

「いしかわ家庭版環境ISO」の認定数が66,583家庭（H30年度末）、「いしかわ学校版環境ISO」の認定数が291校（H30年度末）、「いしかわ地域版環境ISO」の認定数が94地域（H30年度末）となるなど、地球温暖化の防止に向け、家庭、学校、地域における自主的な省エネ・節電等の取組が拡大している。

5 質の高い環境の形成に資する産業活動の推進

ISO14001や「いしかわ事業者版環境ISO」等の環境マネジメントに取り組む事業者が、408事業所（H15年度末）から1,077事業所（H30年度末）となるなど、環境の配慮に取り組む企業数が増加しているほか、「いしかわエコデザイン賞」により、環境対策をビジネスチャンスと捉える企業マインドが着実に醸成されつつある。

6 環境に関する知識、知恵、情報等の集積と活用

環境フェアの開催や県民エコステーション等を通じて環境情報等を提供するとともに、本県の豊かな自然環境を背景にした環境教育・環境学習が、学校や地域、家庭、職場など全てのライフステージにおいて幅広く取り組まれている。